

## 大学図書館職員の新たな役割(日本及び海外の動向)

逸村裕(いつむら ひろし)

筑波大学大学院図書館情報メディア研究科  
筑波大学附属図書館研究開発室

## 本日の内容

- 1.はじめに  
大学図書館と職員の役割の変化
- 2.大学図書館を巡る環境の変化
- 3.情報利用者の変化
- 4.図書館員の役割と機能
- 5.新たな役割
- 6.変わりゆく大学と大学図書館

The best is the enemy of the good

**Voltaire**

『図書館業務の基本原則』Urquhart, D. J.

**最善は善の敵**

### 問題:この文章は何？

大学における教育・研究活動の急速な発展に伴い、大学図書館が、利用者に必要とされる図書館資料および学術情報を、適確、迅速かつ網羅的に提供することの重要性がますます高まっている。このためには、利用者の高度な要求に即応した体制を整備する必要があり、その一環として、図書館業務の合理化、標準化および機械化による能率向上と、積極的に行なう書誌的情報の提供等のサービスの質的改善を図らねばならない。これらは従来の図書館学の知識と技術では処理しえない面も少なくないので、これらに必要な最新の知識および技術を、相当の経験を有する図書館職員に習得させ、その資質の向上を図り、大学図書館の近代化を促進する。

# 実態を把握する

## 図書館学から図書館情報学そして

1967年 「図書館・情報学専攻」慶大文学研究科

1979年 図書館情報大学

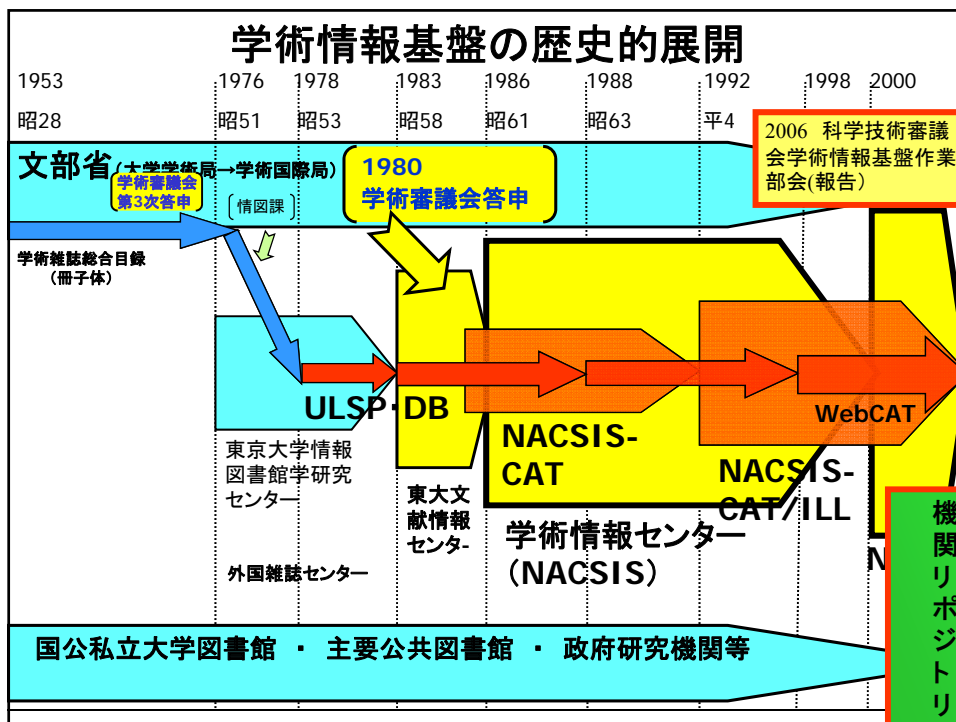
現在

慶應義塾大学文学部 図書館・情報学専攻

慶應義塾大学文学研究科 図書館・情報学専攻

筑波大学 情報学群 知識情報・図書館学類

筑波大学大学院 図書館情報メディア研究科



## 研究目標

So imagine 50 years from now,  
 instead of growing a tree, cutting it down  
 and building a table,  
 you just grow a table,  
 digitally instruct the organism how to grow.

Rodney Brooks. CSAIL, MIT

## 『変わりゆく大学図書館』

2005年7月、勁草書房より『変わりゆく大学図書館』刊行。

大学図書館の現状と課題を16のトピックから取り上げた。



初期構想2003 →

## 『大学図書館の21世紀』 第一案 2003春

はじめに  
大学図書館の現状・政策  
大学改革と大学図書館  
大学図書館システムの機能  
大学図書館組織論  
大学図書館の教育機能と情報リテラシー教育  
図書館ポータル  
メタデータデータベース  
サブジェクトゲートウェイ、パスファインダー  
デジタル・レファレンス  
学術機関レポジトリ  
電子雑誌  
電子図書  
デジタル・アーカイブ  
大学図書館の評価  
大学図書館職員に求められる資質とコアコンピタンス  
アウトソーシング  
大学図書館アメニティ論  
図書館コンソーシアム  
史料管理  
おわりに: 2010年の大学図書館

## 大学図書館の歴史的展開

1960代	図書館近代化
1970-1980前半	機械化 試行錯誤からNACSISへ オンライン情報検索普及
私学助成強化 新図書館建設ブーム	JOIS、DIALOG、日経テレコン…
1985-	NACSISを中心とした 図書館パッケージシステム普及 図書館ネットワーク構築(NACSIS-ILL) CD-ROM
1993-	インターネット、電子図書館
1999-	電子ジャーナル 機関リポジトリ、オープンアクセス…

雑誌危機シリアルスクライシス(雑誌価格高騰)

## 大学図書館員の役割の変化

蔵書を知り、きちんと管理する  
目録がとれる  
利用者を知る  
「館」を通じたサービス  
外国語に強い

## 海外の大学図書館員

Librarians who want to gain the support of administrators need to speak the language of outcomes. This means that information from the users' point of view is an important consideration when asking for improved resources. Administrators want to know whether library materials supplied to faculty and students are useful and how the library staff know that they meet patrons' needs. When librarians request a budget increase, administrators will probably ask how the new space, library materials, staff, or other resources will make a difference in student success. Many administrators also want to know if faculty and students have been involved in any of the planning for improved resources. Librarians who supply the research and assessment that was done to justify the request will score points for their thoroughness with administrators who get deluged with requests each year.<sup>1)</sup>

## Job description分析

専門性を活かして館内の他部署等と協力する

専門的なスキルを図書館全体に提供する

⇒JDではこれらの点を強調する場合多し

(特に電子化関連)

コミュニケーション能力重視

## 2.大学図書館を巡る環境の変化

### (1)多様化する大学と図書館

我が国の高等教育の将来像(答申) 2005年1月28日

学術情報基盤の今後の在り方について(報告) 2006年3月23日

グローバルCOEプログラム 2007年6月15日

### (2)事業経営戦略:ミッションとビジョン

国立大学 中期目標・中期計画 認証評価

### (3)海外の動向

Users are as comfortable using Web information sources as library sources. Is the library brand dated?

### 我が国の高等教育の将来像(答申) 2005年1月28日

中央教育審議会

#### 21世紀は「知識基盤社会」(knowledge-based society)

大学が学部学科や研究科といった組織本位の発想を改め、学位を与えるのにふさわしい体系的な教育課程をつくるよう促す。

2020年頃までを想定した中長期的な方向性を示した。

大学は「**教育の質を重視**」すべき。

重点政策

- ①教育課程改善、
- ②教養教育、大学院教育の充実、
- ③大学同士の競争が激化する中で各校が経営改善に努める、
- ④世界トップクラスの大学院を形成、
- ⑤「卒業が簡単な大学」から脱却、「出口管理」強化



#### 大学の7つの機能

- ① 世界的研究・教育拠点
- ② 高度専門職業人養成
- ③ 幅広い職業人養成
- ④ 総合的教養教育
- ⑤ 特定の専門分野(芸術や体育等)の教育研究
- ⑥ 地域の生涯学習機会の拠点
- ⑦ 社会貢献(地域貢献・産学官連携等)

各大学は、上記7つの機能を併有するが、各大学ごとに保有する機能や比重の置き方は異なる。その比重の置き方が大学の個性となり、各大学は緩やかに機能別に分化していくことを求めている。競争的資金の配分などを通じ、国公私それぞれ特色化や役割分担を各大学は、自ら戦略的に選択していくことが求められる

#### 学術情報基盤の今後の在り方について(報告)

科学技術・学術審議会 学術分科会  
研究環境基盤部会 学術情報基盤作業部会  
平成18年3月23日

[http://www.mext.go.jp/b\\_menu/shingi/gijyutu/gijyutu4/toushin/06041015/020.pdf](http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/gijyutu/gijyutu4/toushin/06041015/020.pdf)

主査:石井紫郎

三WG コンピュータネットワーク  
大学図書館  
学術情報発信

## 学術情報基盤の今後の在り方について(報告) 図書館員について

**主題知識、専門知識、国際感覚を持った専任の図書館職員が不十分**  
高度の図書館サービスを提供するためには、図書館職員としての専門知識と経験のほか、特定の専門分野についての高度の知識を持つサブジェクトライブラリアンが、レファレンスサービス、情報資源の組織化や選書等において、専門性を発揮する必要がある。また、図書館職員には伝統的な図書館業務に関わる理念と知識、技能に加え、情報通信技術の活用と人的サービスを行うコミュニケーション能力を持った、いわゆるデジタルライブラリアンともいうべき人材も求められるが、現在の大学図書館には、そのような人材は少なく、その有効活用や人材育成への取組みも十分に行われていない状況である。さらに、学術情報流通の国際化、教育研究の国際化に対応できる広い視野を持った人材が求められている。

## 学術情報政策

外国雑誌センター館  
学術情報センター  
コンピュータネットワークの整備  
電子図書館  
学術情報ネットワーク(スーパー SINET)  
スーパーコンピュータ  
情報基盤センター/情報処理センター等  
基盤的ソフトウェア  
最先端学術情報基盤  
次世代学術コンテンツ基盤共同構築事業

## 学術情報基盤の今後の在り方について(報告)その後

新メンバーによる

科学技術・学術審議会 学術分科会

研究環境基盤部会 学術情報基盤作業部会

審議が始まっている。

2007年4月27日より新規

## 学術情報基盤作業部会 委員名簿

三宅なほみ	中京大学情報理工学部教授
有川節夫(主査)	九州大学理事・副学長
伊井春樹(主査代理)	人間文化研究機構国文学研究資料館長
上島紳一	関西大学学長補佐
潮田資勝	北陸先端科学技術大学院大学長
小谷誠	東京電機大学工学部教授
後藤滋樹	早稲田大学理工学術院教授
坂内正夫	情報・システム研究機構国立情報学研究所長
土屋俊	千葉大学文学部教授
美濃導彦	京都大学学術情報メディアセンター長
山口しのぶ	東京工業大学学術国際情報センター教授
米澤明憲	東京大学情報基盤センター長

## 平成20年2月4日第12回長尾真国会図書館長

出版物とは一体何かということについてはいろいろと議論があると思いますが、国立国会図書館においては大体50部以上刷られて、適当なところに配付されるというものは出版物であるとみなすということになっております。

そして、大学の資料の納本率が低く、国立大学が73パーセントで、公立大学が67パーセント、私立大学が82パーセントという状況になっています。

我が国のために出版された図書、あるいは報告書を永久に保存し、利用に供するという事ですから、納めていただくということによって、成果が永久に記録され、かつ、何年先にも使われるということになるわけです。

機関リポジトリは、博士論文が中心になっているようですが、学内のあらゆる出版物に対しても、きちっと蓄積・保存していただくことが必要ではないかと思えます。必ずしも国立国会図書館に納めていただくなくても結構ですが、日本中でどこにどういうものがあるかという所在が明確であることが必要であると思えます。その上で、大学においてそれを扱いかねるということであれば、国立国会図書館にその管理を任せいただくというのでもよいのではないかと思います。

次に、学会雑誌の納本・保存については、これから大変なことになってくるのではないかと考えています。学協会、その他団体の雑誌がどんどん電子化されており、紙の形態でなくなってきている中、国立国会図書館において納入義務を課している出版物は、紙媒体であり、電子的なものについては納本の義務が明確には課されていません。

## 2. 大学図書館を巡る環境の変化

### (2) 事業経営戦略: ミッションとビジョン

外部評価の時代

ミッション

ビジョン

**図書館は永続性を意識する**

**そのために**

## 2.大学図書館を巡る環境の変化

### (3)海外の動向

Users are as comfortable using Web information sources as library sources. Is the library brand dated?

#### Top ten assumptions for the future of academic and research libraries

- a. There will be an increased emphasis on digitizing collections, preserving digital archives, and improving methods of data storage and retrieval.
- b. The skill set for librarians will continue to evolve in response to the needs and expectations of the changing populations that they serve.
- c. Students and faculty will increasingly demand faster and greater access to services.
- d. Debates about intellectual property will become increasingly common in higher education.
- e. The demand for technology-related services will grow and require additional funding.
- f. Higher education will increasingly view the institution as a business.
- g. Students will increasingly view themselves as customers, expecting high-quality facilities and services.
- h. Distance learning will be an increasingly more common option in higher education, and will coexist but not threaten the traditional bricks-and-mortar model.
- i. Free, public access to information stemming from publicly funded research will continue to grow.
- j. Privacy will continue to be an important issue in librarianship.

### 3.情報利用者の変化

- (1)新しモノ好き利用者とそうでない利用者
- (2)研究者
  - 現代のPublish or perish
- (3)教育に関わる人たち
  - 授業計画 授業評価
  - eラーニング Open CourseWare
- (4)学生
  - 多様化する“学生“
  - リメディアル教育
- (5)リメディアル教育と図書館員

#### (1)新しモノ好き利用者とそうでない利用者

- 旧来のやり方を踏襲する利用者
- 情報通信技術を駆使する利用者
  - a.サーチエンジン
  - b.図書館WWW
  - c.アラートサービス
  - d.ナビゲーションツール
  - e.その人独特の技

## (2)研究者

出版かさもなくば減びるか

現代のPublish or perish

世界の学術出版量

Publish, review or perish

## (3)教育に携わる人たち

授業計画

授業評価

eラーニング

Open CourseWare

## (4)学生

世界的に学生は今

ネット指向

Blogの隆盛

インターネット上で公開されている国内のブログが08年1月末現在で約1690万件あり、記事総数は約13億5千万件と単行本約2700万冊分のデータ量に相当する

## (4)学生

選抜制度の制度疲労

少子化

多様な入試

予備校の影響力

センター入試 得点率40%以下で大学合格

留学生30万人計画

高等学校卒業程度認定試験(旧大検)

学生の多様化



## (5)リメディアル教育と図書館

図書館に学生を来させるには？

## 4.図書館員の役割と機能

(1)図書館業務の諸原則(アーカート)

- a. Supply creates demand.
- b. Libraries have to be paid for.
- c. No library is island.
- d. The staff of a library should work as a team.
- e. Libraries can be valuable to society
- f. The best is the enemy of the good.

## 4.図書館員の役割と機能

### (2) 図書館職員に求められる資質(小西)

- a.ねばり強いこと
- b.サービスへの思い入れ
- c.図書館像を持つ
- d.歴史に学ぶ
- e.プロ意識を持つ
- f.先ず図書館の利用者になる
- g.規則に振り回されない
- h.成功体験にとらわれない=変革への志
- i.文章力とプレゼン能力を鍛える
- j.得意なことを持つ・「なりたい気持ち」を忘れない

## 4.図書館員の役割と機能

### 大学図書館職員のコンピテンシー (国大図協人材委員会)

コンピテンシーとは、「仕事上の役割や機能をうまくこなすために個人に必要とされる測定可能な知識、技術、能力、行動その他の特性パターン」

## Functional Specialist

アーキビスト

経営管理

人事管理

IT

メディア/マルチメディア

資料保護/保存

<http://stats.bls.gov/oco/ocos068.htm#empty>

Librarians must have knowledge of a wide variety of scholarly and public information sources and must follow trends related to publishing, computers, and the media in order to oversee the selection and organization of library materials.

Librarians manage staff and develop and direct information programs and systems for the public, to ensure that information is organized in a manner that meets users' needs.

Librarians play an important role in the transfer of knowledge and ideas by providing people with access to the information they need and want. Jobs requiring similar analytical, organizational, and communication skills include archivists, curators, and museum technicians; and computer and information scientists, research.

Librarians are increasingly storing, cataloguing, and accessing information with computers. Other jobs that use similar computer skills include computer systems analysts and computer scientists and database administrators.

## 5.新たな役割

(1)今、大学図書館員には何が求められているのか？

(2)研究開発活動との関係

教員との連携

附属図書館研究開発室

REFORM

## 6.変わりゆく大学

Where do we go from here?

Job description

Position announcement(p.22-23)

## ひとつの解決手段 シナリオライティング Scenario writing

シナリオライティングとは様々な要因について将来予測を組み合わせることで、将来顕在化する可能性のある像を複数イメージするものである。

- 1.多様な選択肢。様々な階層別に多様な選択肢が準備される。
- 2.施設の整備とICTにより、いつでもどこでも誰にでも状況。
- 3.「境」が希薄化し、融合と分断が進み、新しい〇〇が出現、進化。
- 4.〇〇の特性を生かしたブランド化により、〇〇が活性化する。
- 5.さまざまな分野、維持管理技術、高付加価値化・・・

## シナリオを描いてみる:教育との関係

Computer Based Training  
Online Courses  
Learning Content Management System  
Learning Mall **Library(Information) Commons**  
Learning on Demand  
Semantic Agents  
Cybraries

## Knowledge Librarian

高等教育機関におけるKnowledge Librarian

常に新しい舞台へ

一人二役(三役)

仕事負荷 重くても平気

現場の苦勞を理解し、問題を共有する

業績評価

リーダーシップとフォロワーシップ

対人サービス コミュニケーション

## Academic Administrator

高等教育機関におけるAcademic Administrator

General Administratorとの異同

ミッションの解釈

新しい舞台へ

一人二役(三役)

仕事負荷 重くても平気

現場の苦勞を理解し、問題を共有する

業績評価

トップダウンとボトムアップ

リーダーシップとフォロワーシップ

**Academic Administrator  
とKnowledge Librarianの世界**

課長・課長補佐・係長職の存在意義

ガバナンス

コミュニケーション

ネットワークと業務情報

責任の明確化

学術情報流通の一角を担う、とは

**問題**